

■ Hardware

GeForce2 MX (GeForce2 MX400搭載版)  
GAINWORD p.176

GeForce2 MX64  
GAINWORD p.176

QV-3500EX  
カシオ計算機 p.178

PLATINUM GeForce2 MX200  
SUMA p.179

IPSiO 2200  
リコー p.180

Z32 Color Jetprinter Black Version  
レックスマーク インターナショナル p.181

CRX200E  
ソニー p.182

TapeStor TRAVAN Portable USB 20  
日本シーゲイト p.183

■ Software

nero5.5 BURNING ROM  
プロジージュループ p.184

pcAnywhere v.10.0  
シマンテック p.185

コリャ英和! + 和英らくらくインターネット翻訳  
ロゴヴィスタ p.186

ホームページ制作王2002  
ジャングル p.187

マイベンシル  
ジャストシステム p.188

■ 愛しのP級ソフトウェア

ドラメール  
小学館 p.189



低価格ながらハードウェアT&Lを備える  
ハイコストパフォーマンスビデオカード

コストパフォーマンス  
機能性/操作感  
総合評価

GeForce2 MX400搭載版	GeForce2 MX64
★★★★☆	★★★★☆
★★★★☆	★★★★☆
★★★★☆	★★★★☆

# GeForce2 MX (GeForce2 MX400搭載版)

GAINWORD >>>>>>  
価格: オープンプライス (実勢価格: 1万2000円前後)

Point! >>>>>>

「GeForce2 MX (GeForce2 MX400搭載版)」は、同社の「GeForce2 MX」の上位製品である。GeForce2 MXを上回る性能ながら、価格は1万2000円程度。限られた予算でPCを作りたいときに、選択肢に入れたい製品だ。

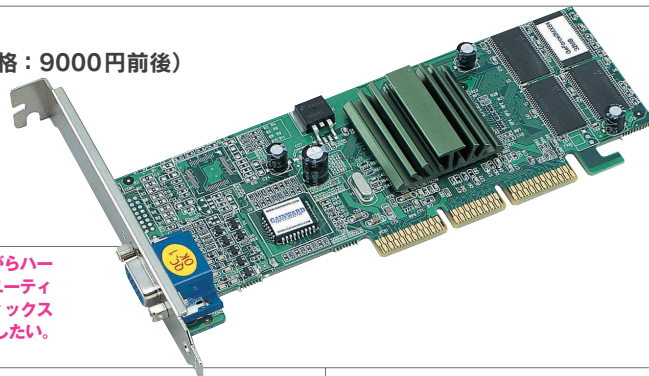


# GeForce2 MX64

GAINWORD >>>>>>  
価格: オープンプライス (実勢価格: 9000円前後)

Point! >>>>>>

「GeForce2 MX64」は、ローコストながらハードウェアT&Lを備えたビデオカードだ。ユーティリティも高機能であり、オンボードグラフィックス機能からのアップグレードパスとして注目したい。



高クロック動作でパフォーマンスの  
向上した GeForce2 MX400

GAINWORDの「GeForce2 MX (GeForce2 MX400搭載版)」(以下 GeForce2 MX400搭載版)は、より高クロック動作を可能にしたGeForce2 MXの上位チップ、GeForce2 MX400を採用した製品。ビデオチップのコアクロックは、GeForce2 MXが175MHz動作だったのに対して、GeForce2 MX400は200MHz動作となる。サポートするビデオメモリはバス幅128ビットのSDR SDRAM、バス幅64ビットのDDR SDRAMと、この仕様はGeForce2 MXから変更されていない。なお、GeForce2 MXと異なりバス幅64ビットのSDRAMはサポートしないが、GeForce2 MX400がよりパフォーマンス重視の製品であることを思えば当然であろう。

GeForce2 MX400搭載版は多くの

GeForce2 MX採用ビデオカードがそうであったように、NVIDIAのリファレンスデザインに準じた基板を使用している。ビデオチップ上にはヒートシンクが付いているが、さほど大きなものではなく、ほかの拡張カードとの干渉を気にする必要はない。ビデオメモリはバス幅128ビットのSDRAMが166MHzで動作しており、帯域幅は約2.7GB/sec。GeForce2 MX400のフルスペックを満たした製品といえる。

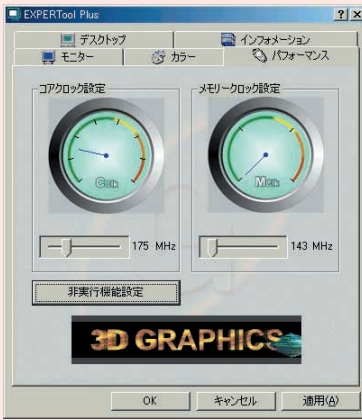
GeForce2 MX400搭載版はVGA出力端子を一つだけ備える非常にベーシックなビデオカードだが、基板にはセカンダリ出力用の配線パターンが準備されており、セカンダリ出力を備えたバリエーションモデルの登場に期待したい。

ローコストで手軽なアップグレード  
パスとなる GeForce2 MX64

同じくGAINWORDの「GeForce2

MX64」は、GeForce2 MX200を採用。サポートするビデオメモリをバス幅64ビットのSDR SDRAMのみに制限することで、よりローコストを実現した製品だ。その名称から想像できるとおり、ローコスト志向ながらハードウェアT&Lを備え、動作クロックもGeForce2 MXと同じ175MHzだ。なおGeForce2 MX400/200のグラフィックスコアそのものはGeForce2 MXと同じであり、動作クロックとサポートするビデオメモリが異なるだけである。

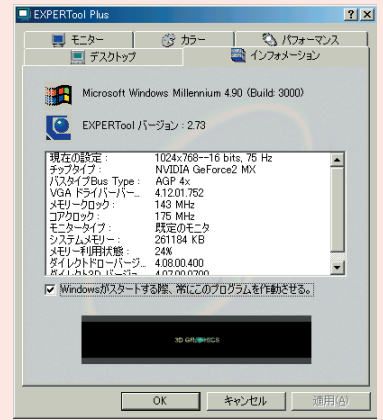
GeForce2 MX64はロープロファイルPCI仕様準じた基板サイズ。ただしロープロファイル仕様のブラケットは付属しておらず、オプションとしても準備されていない。GAINWORDのWebサイトでもロープロファイルPCIへの対応は触れられておらず、この点は少々もったいない。自作派でもロープロファイルPCI仕様のブック型ケースを



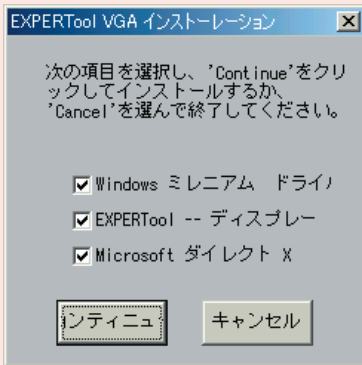
Tweak機能: GeForce2 MX64ではコアクロックが160~230MHz, メモリクロックが143~170MHz, GeForce2 MX400搭載版ではコアクロックが190~260MHz, メモリクロックが150~200MHzと幅広く設定できる



デスクトップ設定では解像度, 色数に加え, フォントサイズ, リフレッシュレートもまとめて変更可能

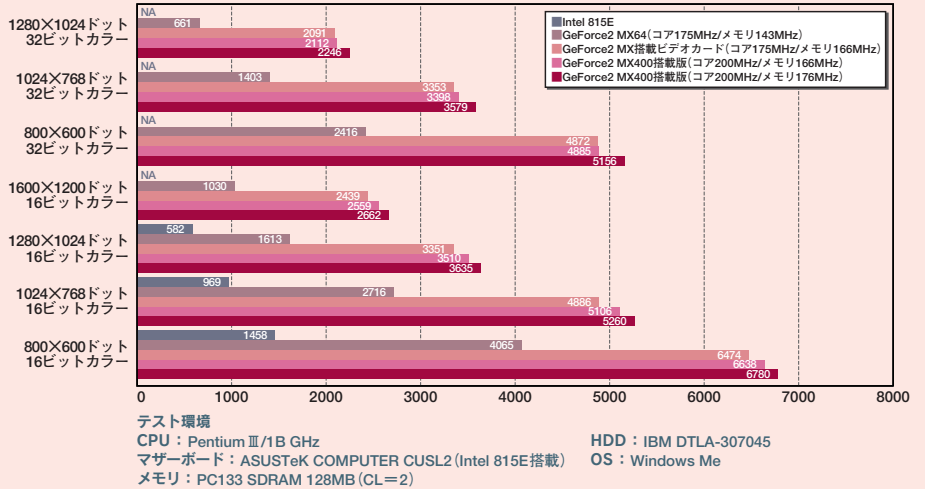


インフォメーションではドライバ情報などの表示のほか, EXPERToolをOS起動と同時に常駐させるかどうかの設定もできる



ドライバCD-ROMの自動実行画面。ビデオカードを自動認識し, 適切なドライバとソフトウェアをインストールしてくれる

### 3DMark2000 Ver.1.1の結果



使用する人が増えているし, ロープロファイルPCI仕様のAGPスロットが使用可能な小型ヘアボンなども増えつつあるからだ。

気になるのは, ビデオメモリが143MHzで動作している点だ。NVIDIAの資料では, GeForce2 MX200のメモリの帯域幅はGeForce2 MXやGeForce2 MX400の半分約1.3GB/secとなっており, これはSDRAMならばGeForce2 MX200はバス幅が64ビットとなるだけで動作クロックは同じ166MHzのはずだ。ただしGeForce2 MX64は, 同社のWebサイトでもメモリの帯域幅が1.1GB/secとなっており, メモリ動作クロックが143MHzで計算が一致する。あえて低クロックのSDRAMを使用しているということであり, 製品の位置づけを考慮して, よりコストを重視した結果だろう。

#### Tweak機能も備えるユーティリティを装備

2製品ともほぼ英語パッケージのまま販売され, マニュアルも英語のま

まだ。ドライバCD-ROMは, 同社他製品のドライバまで含む統合されたものだが, 自動的にビデオチップを認識してインストーラが自動起動するタイプで, インストールされたドライバは日本語化されたもの。非常にベーシックなビデオカードであることを考慮すれば, マニュアルが英語版のままであってもそうマイナス材料ではないだろう。

EXPERToolと呼ぶ同社独自のユーティリティも付属する。タスクトレイへの常駐もでき, Tweak機能(コアクロック, メモリクロックの変更)のほか, ビデオカードに関するさまざまな設定機能をワンタッチで呼び出し可能で, より詳細に簡単に各種の設定ができる。こちらも日本語化されたものであり, 不便を感じることはない。

#### 位置づけにマッチしたパフォーマンス

比較用にIntel 815Eの内蔵グラフィックス機能, GeForce2 MX搭載ビデオカード(ELSA GLADIAC MX)を加え, 3DMark2000 Ver.1.1で3D描画

のパフォーマンスをチェックした。2製品はGeForce2 MX採用製品の上位, 下位に位置づけられる製品としてほぼ適切なパフォーマンスを示した。

GeForce2 MX400搭載版はほぼすべての解像度, 色数でGeForce2 MXを上回ったが, 32ビットカラーではその差はきわめて小さい。32ビットカラーではコアクロックよりもメモリの帯域幅のほうが影響が大きく, GeForce2 MX400搭載版とGeForce2 MXではビデオメモリが同クロックで動作しているからだ。実験的にEXPERToolでメモリクロックを176MHzまでオーバークロックさせてみると, 32ビットカラーでも着実なスコアの向上が見られた。GeForce2 MXとの性能差は小さいものの, 性能アップしていることは間違いなく。

GeForce2 MX64は, やはりメモリの帯域幅の関係で高解像度, 多色になるほど大きなスコア差をつけられた結果になった。大まかに見れば, GeForce2 MXやGeForce2 MX400搭載版のおおよそ半分から3分の1程度のスコア。

それでもIntel 815Eの内蔵グラフィックスと比較すれば格段に高いスコアであり, チップセット内蔵グラフィックス機能では不満という人のアップグレードには十分な3D描画性能だ。実際多くの3Dゲームは800x600ドット・16ビットカラー程度で十分楽しめるはずであり, ヘビーゲームユーザー以外には必要十分な3D描画性能といえる。また2Dは, GeForce2 MXやGeForce2 MX400と同じ350MHz RAMDAC仕様で, 表示能力は同等だ。価格次第では非常に魅力的な製品といえるだろう。(坪山博貴)

問い合わせ先: コウリユウ商事  
 ☎03-5817-0558

**GeForce2 MX(GeForce2 MX400搭載版)**  
 インタフェース: AGP 1X/2X/4X  
 コアクロック: 200MHz  
 メモリクロック: 166MHz  
 メモリ: SDR SDRAM 32MB  
 対応OS: Windows 95/98/Me/NT4.0/2000

**GeForce2 MX64**  
 インタフェース: AGP 1X/2X/4X  
 コアクロック: 175MHz  
 メモリクロック: 143MHz  
 メモリ: SDR SDRAM 32MB  
 対応OS: Windows 95/98/Me/NT4.0/2000